



2014年7月1日(火)～20日(日) 休館日:7月7・14日(月)
国立科学博物館 [東京・上野公園] 日本館1階・中央ホール

開館時間:午前9時～午後5時 金曜日は午後8時まで
*入館は閉館時刻の30分前まで

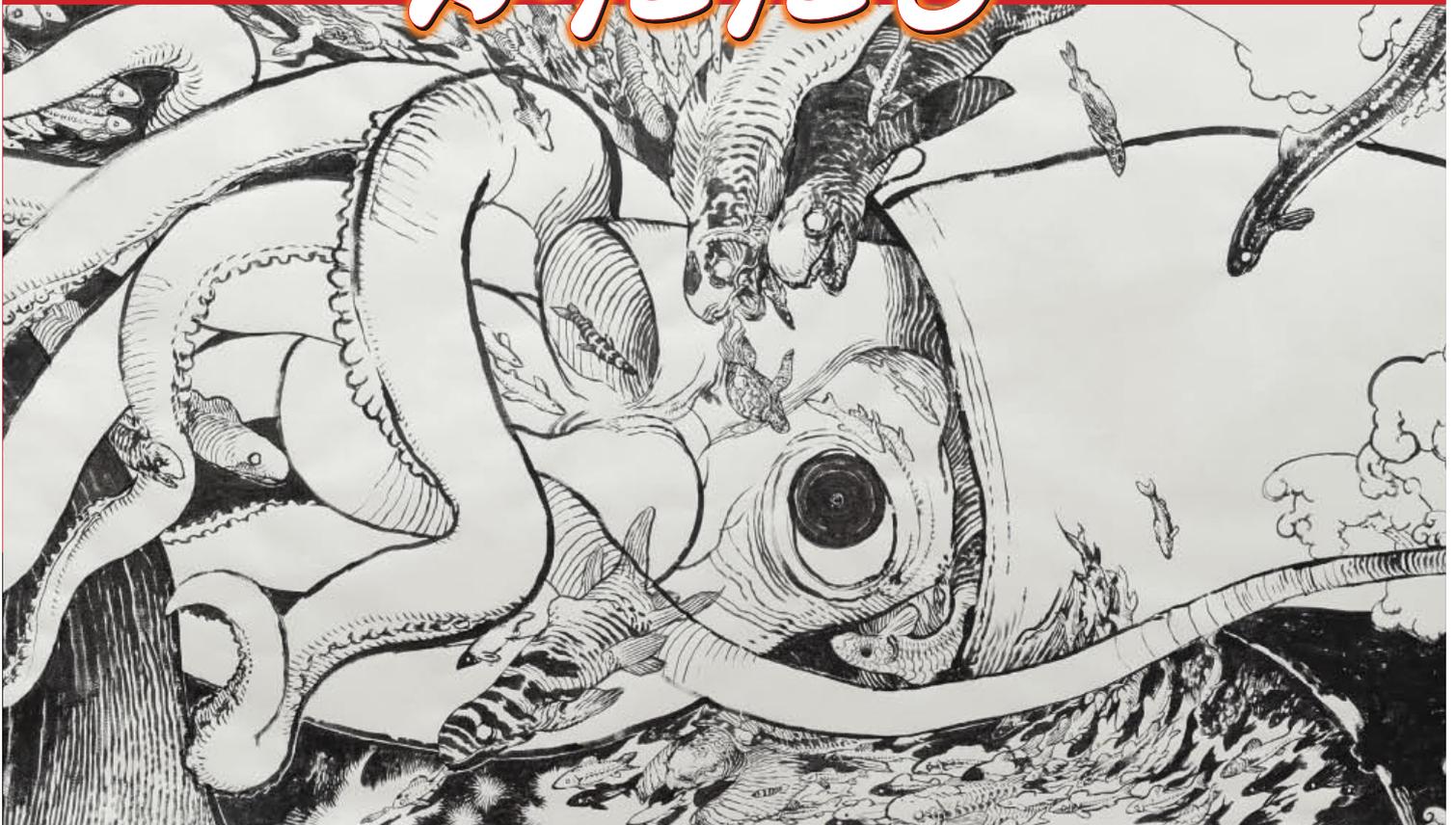
常設展示入館料のみでご覧いただけます。
常設展示入館料:一般・大学生 620円(団体310円) 高校生以下および65歳以上無料
*団体は20名以上

〈主催〉国立科学博物館
〈後援〉NHK プロモーション 電通
〈協力〉NHK エンタープライズ

— 2014科博NEWS展示 —

「大王烏賊深海図」特別公開

ダイオウイカ ふたたび



寺田克也「大王烏賊深海図」(部分)



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

ダイオウイカ ふたたび

2014年、日本海に度々現れた ダイオウイカの謎に迫る

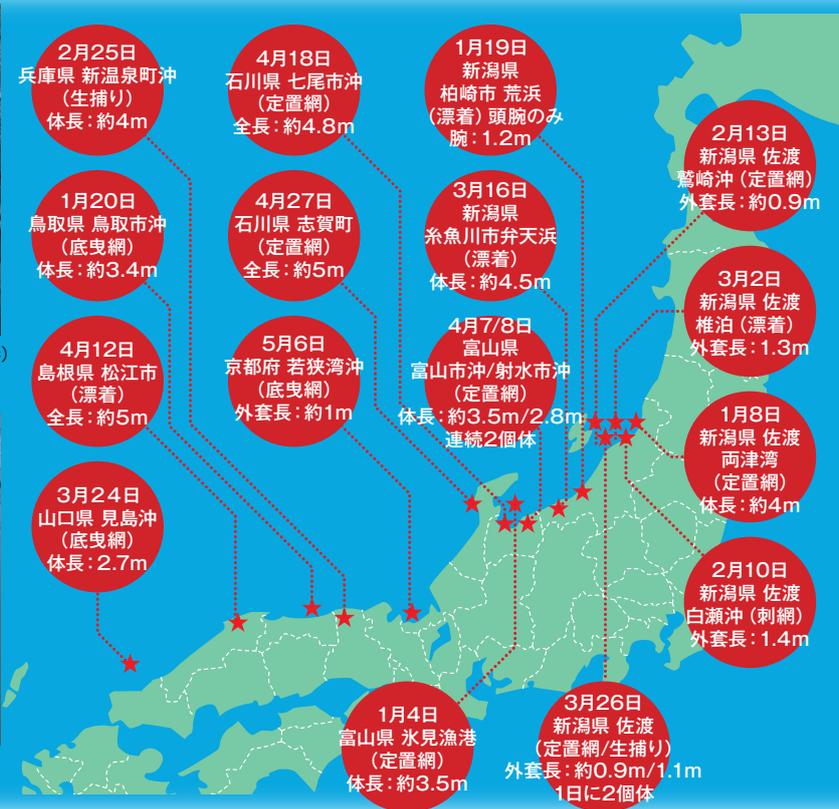
昨年7月から開催された特別展「深海」は、3ヶ月で59万人以上のお客様にご入場いただき、“ダイオウイカ”が話題を集めました。このたび国立科学博物館では、マンガアーティスト寺田克也氏が制作した「大王烏賊深海図」(8m×2.7m)の寄贈をうけ、特別公開を行います。あわせて、今年明けから頻りに発見・捕獲されたダイオウイカについて、なぜ日本海沿岸で次々と出現したのか、その謎とメカニズムの一端に迫ります。



定置網に死骸で入網(富山/氷見漁港)



浜に漂着(新潟/糸魚川市弁天浜)
上越市立水族博物館 提供



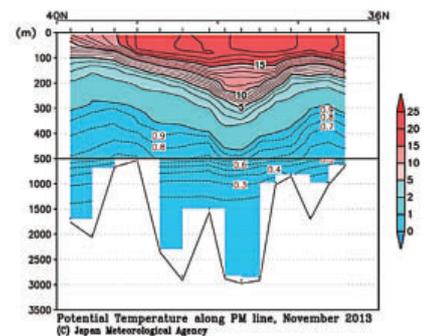
定置網に生体で入網(新潟/佐渡白瀬沖)
後藤繁紀氏 提供



刺網で捕獲(新潟/佐渡両津湾)
新潟県佐渡地域振興局 提供

水深約300m以深に広がる 水温0~1°Cの日本海固有水の存在が鍵?

ダイオウイカは広く世界の温帯海域に分布し、水深600~1000m付近の中深層に生息していると考えられています。2014年1月から5月、日本海に面した沿岸各地でダイオウイカが次々と発見され、総数は18個体にもなりました。なぜこのような現象が起こったのか、日本海に固有の水温構造とこの冬の水温分布から解析し、その過程を紹介します。



日時: 7月12日(土) 13:30-15:00
会場: 日本館2階講堂 定員:100名(当日先着順受付)
特別トークイベント
「『大王烏賊深海図』の絵師として」寺田克也 マンガアーティスト
「2014年日本海沿岸、ダイオウイカ大量出現の謎」窪寺恒己 国立科学博物館 標本資料センターコレクションディレクター

寺田克也: マンガ、イラスト、ゲーム・アニメのキャラクターデザインなど幅広い分野で活動中。早くからコンピューターとタブレットでのデジタル絵に移行しつつ、ライブドローイングなども積極的に行う。欧米コミックスと日本の伝統的絵画における線や陰影の表現をあわせもったオリジナルな作風は、国内外で高く評価されている。

交通ガイド

JR「上野」駅(公園口)から徒歩5分
 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅(7番出口)から徒歩10分
 京成線「京成上野」駅(正面口)から徒歩10分
 ※館内に駐車場および駐輪場はございません

国立科学博物館
 National Museum of Nature and Science

お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600
 ホームページ <http://www.kahaku.go.jp>
 English page <http://www.kahaku.go.jp/english>